

道徳学習指導案

指導者名 三上 真倫

- 1 学年 第2学年 1組
- 2 主題名 社会生活ときまりや義務の意義
C- (10) 「公德心」
- 3 ねらい 教材の中にある道徳的問題について考えを深めることを通して、社会にあるきまりやそれを守ることの意義を理解することで、自他の権利を大切にし、よりよい社会をつくろうとする道徳的判断力を育てる。
- 4 教材名 「誰が犯人？」
(出典：『中学生の道徳 2年 かけがえのないきみだから』 学研)

5 主題設定の理由

○ 人間が集まって社会が形成されると、「私」と「私」の利益がぶつかり合って集団のまとまりがなくなり、結局一人一人の願いが実現できないことがある。「法やきまり」は、この集団に秩序を与え、摩擦を最小限にするために、人間の知恵が生み出したものであることや、社会の秩序と規律を守ることによって、個人の自由が保障されるということを理解することは大切である。中学生の段階では、入学して間もない時期には、法やきまりに従えばそれでよいと考え、「ルールだから守る」と法やきまりを他律的に捉えている生徒が多い。学年が上がるにつれて、社会の中で生きているという自覚も深まり、法やきまりについてその意義を一層理解することができるようになる反面、法やきまりは自分たちを拘束するものとして反発したり、自分の権利は強く主張するものの、自分の果たさなければならない義務をなおざりにしたりする傾向も見られる。そのため、法やきまりは自分自身や他者の生活や権利を守るためにあり、それを遵守することの大切さについての自覚を促すことが求められる。自他の権利を大切にし、義務を果たすことで、お互いの自由意思が尊重される。そして、その結果として規律ある安定した社会が実現することを理解した上で、社会の秩序と規律を自ら高めていこうとする意欲を育て、日々の実践に結び付けることが重要だと考え、本主題を設定した。

○ <個人情報保護のため省略>

○ 本教材は、図書館をよく利用する友加が、図書館で借りたCDが破損していたり、本への書き込みがしてあったりなど、きまりが守られていないことに対し、「絶対に許せない」という感情をあらわにする。しかしその一方で、友人の夏美との会話の中で、自分自身が返却期限の過ぎている本を借りっぱなしにしていたことに気が付く。自らがきまりを守っていなかったことに気が付き、夏美にそのことを伝えようとするが、そのタイミングを失ってしまうという内容である。生徒にとって身近な題材を扱っていること、主人公が自分が不利益を受ける場面と他者に不利益を与える場面と、立場が異なる場面が記載されていることが特徴である。

指導にあたっては、自ら進んできまりやマナーを守る判断力を育てたいと考えた。そのために、まずは友加が自分の権利を侵害された場面と他者の権利を侵害した場面における心情を追求する。そして、きまりやマナーに反する行動が、人に迷惑をかけることや不快な思いにさせること、自分が後悔することなど、心情を把握させ人間理解を深めたい。

また、資料の中に一貫している道徳的な問題について考えることで、自分本位の安易な行動や義務を果たさないことが他者の権利を犯していることに気づかせたい。そして、「きまりやマナーは何のためにあるのか。」を問うことで、きまりやマナーはよりよい社会の実現のために必要なことであることをとらえさせ、生徒一人一人の道徳的価値に対する考えを広げたい。さらに、よりよい社会の実現には、自分自身が自ら進んできまりやマナーを守ることや互いの内面に思いを馳せることの大切さを理解させ、ねらいに迫りたい。

6 学習指導過程

	学習活動	発問口 及び予想される反応（・）	指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> 図書館の写真を見て、「図書館で気を付けないといけないこと」にはどのようなことがあるか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 騒いではいけない。 本を破ってはいけない。 飲食をしてはいけない。 あった場所に本を返す。 貸し出し期限を守る。 	<ul style="list-style-type: none"> 大田市の図書館の写真を提示し、身近なこととしてとらえられるようにする。
展開	<ul style="list-style-type: none"> 教材を読み登場人物や状況について確認する。 		<ul style="list-style-type: none"> 内容をしっかりと理解できるようゆっくりと時間をかけて読む。
	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを発言する。 学級全体で互いの考えを共有する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> <p><主題追求課題> きまりやマナーは何のためにある？</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> <p>CDが聴けなかったり、本に書き込みがしてあったりしたことで、友加はどのような気持ちになったのだろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 何のために借りたんだ、むかつく。 楽しみにしていたのに台無しだ。 こんな書き込みをする人がいるなんて信じられない。 楽しみを奪われた。 図書館で貸し出されるものはみんなのものなのに。 	<ul style="list-style-type: none"> 友加の気持ちを考えることで、きまりやマナーに反する行動が、他に迷惑をかけることや、不快な思いをさせることに気付けるようにする。

	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを発言する。 ・学級全体で互いの考えを共有する。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを発言する。 ・学級全体で互いの考えを共有する。 <ul style="list-style-type: none"> ・主題追及課題について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・班で互いの考えを出し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・学級全体で互いの考えを共有する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 返却期限を守らないことで、夏美を困らせていると知った友加は、どんな気持ちになっただろう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・まさか自分が……。申し訳ない……。 ・言わないといけないけど、気まずいな。 ・正直に夏美さんに伝えて謝らなきゃ。 ・自分だってきまりを守らず、他人に迷惑をかけていたな……。 ・人のことばかり非難していた自分が恥ずかしい。 ・きちんと期限を守っていればよかったな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> この資料全体を通して何が問題だろうか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・きまりやマナーが守られていない。 ・人に迷惑をかけている。 ・相手のことが考えられていない。 ・自分勝手な行動をしている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> きまりやマナーは、何のためにあるのだろう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・誰かが嫌な思いをしないようにするため。 ・周りの人に迷惑をかけないようにするため。 ・互いが過ごしやすくするため。 ・みんなが平等に生活できるようにするため。 ・誰もが気持ちよく生活できるようにするため。 ・安心、安全に暮らせるようにするため。 ・自分も周りも楽しく生活できるようにするため。 	<ul style="list-style-type: none"> ・きまりを守っていなかった、友加自身に反省、後悔の気持ちがあることを確認できるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・資料の中に一貫している問題点として考えられるように、具体的な行為を確認しながら発問する。 <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれが主体的に考え、自分の意見以外にも多くの意見に触れられるよう班で話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・班で考えを1つにまとめる必要がないことを伝える。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の説話を聞く。 ・ワークシートを使って、本時の振り返りをする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で、考えたことや気づいたことを記入するように声をかける。

7 評価

社会にあるきまりの意義を理解し守ることで、自他の権利を大切にし、よりよい社会をつくらうとすることを自分のこととして考えているか。(発言・ワークシート)

8 板書計画

「誰が犯人？」

CDが聴けなかった時や、本の書き込みを見た時の友加の気持ちは？



夏美を困らせていると知った友加の気持ちは？



何が問題なのか？

- ・
- ・
- ・
- ・

きまりやマナーは何のためにある？

人に迷惑をかけないようにするため

周りが嫌な思いをしないようにするため

みんなが気持ちよく過ごすため

誰もが安心して過ごせるようにするため

みんなが平等に生活できるようにするため

相手のことを大切にするため

9 教材分析

主題名	社会生活ときまりや義務の意義	教材名	「誰が犯人？」	
ねらい	教材の中にある道徳的問題について考えを深めることを通して、社会にあるきまりやそれを守ることの意義を理解することで、自他の権利を大切に、よりよい社会をつくろうとする道徳的判断力を育てる。			
主要場面	友加の心の動き	道徳的価値等	気付かせたいこと	主な発問
ある休日、友加は図書館で面白そうな本や気になっていたCDを借りることができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館に人気のアーティストのCDが置いてあることを知り、感心した。 ・広がる青空のように晴れやかな気分だった。 	喜び 期待	友加は図書館でCDや本を借りられてとても上機嫌であり、それらを聴いたり、読んだりすることを楽しみにしているということ。	
友加は、図書館で借りたCDが聴けなかったり、本に書き込みがしてあったりしたことに対し、腹を立てた。	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館で借りたCDや本を家で楽しもうと良い気分であったが、いざ聴いたり、読んだりしてみると、欠陥があり、気分が一転して怒りに変わった。 	怒り 規範意識 責任ある行動	友加の楽しみから一転したショックや怒りは、貸し出しのマナーを守らないことやそれによって人が迷惑するということからきているということ。	CDが聴けなかったり、本に書き込みがしてあったりしたことで、友加はどのような気持ちになったのだろうか。
友加は、学校ですぐに友達に対し、自分が腹を立てたことについて話した。	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーを守らないなんて最低だ。 ・怒りを誰かと共有したい。 	不平・不満	誰もが気持ちよく図書館を利用するためには、きまりを守らなければならないという規範意識を、友加自身が持っているということ。	
友加は、友人の夏美さんが読みたい本が、友加自身が返却期限を過ぎてもなお借りっぱなしにしている本であることを知り、謝ろうとした。	<ul style="list-style-type: none"> ・決まりを守っていなかったのは自分であると気づき、反省し、後悔している。 ・夏美さんに迷惑をかけてしまっている。 ・夏美さんに謝りたい。 	反省・後悔 謝罪 誠実	<ul style="list-style-type: none"> ・友加が自分のしてしまったことを受け止め、反省している様子。 ・最初は図書館の貸し出しで迷惑をかけられた側であった友加が、迷惑をかけている側であったことに気付いたこと。 ・一人がきまりを破ることで、誰かが迷惑をすること。 ・きまりを守ることで、みんなが気持ちよく生活できるとのこと。 	返却期限を守らないことで、夏美を困らせていると知った友加は、どんな気持ちになったのだろうか。
夏美さんは、「みんなの図書館なのに、期限を守らないって困るよね。」と友加に言い、カウンターに向かった。	<ul style="list-style-type: none"> ・私が期限を守らなかったから、夏美さんが困っている。 ・どうしよう、夏美さんが行ってしまう。 	遵法精神 公德心 思いやり 身勝手さ		この教材全体を通して何が問題だろうか。
				きまりやマナーは、何のためにあるのだろうか。